



こばやし たか とら
小林 貴 虎

しみん
市民クラブ

サミットと津なぎさまちの利用促進に関して

問 来るサミットにおいて、市内では関連イベントは行われませんが、津市にとって国外からの来訪者に津が三重の玄関口であり、高速船を使うルートが一番早く、かつ便利であるということを実感してもらうことが最高のPRだと考える。議場での提案以降、津市として、セントレア―津なぎさまち路線をPRするための対策を何か取ったのか。

答 伊勢志摩サミット開催に際し、三重県に来訪される方々の移動手段として、海上アクセスをご利用いただくために、伊勢志摩サミット三重県民会議事務局や三重県の交通担当部局に対し、さまざまな機会を捉えて要請を行ってきた。

その結果、報道関係者を対象に、中部国際空港と津なぎさまち間の高速船利用を前提とする、津なぎさまちと報道関係者の宿泊先をつなぐ無料シャトルバスを運行いただく予定となった。

また、三重交通において、伊勢市、外宮、内宮を高速船と特急バスで結ぶルートをお得なセット割引により3月3日から運行していただいている。

●その他の質疑・質問●

○三重短大における教育公務員の政治活動および大学の中立性に関する短大側の見解を受けて、津市はどのような対応をするのか

○ふるさと納税制度において、津市は制度開始以降4000万円を超える赤字を抱えているが、どう対処するのか

○教科書採択不正疑惑に関して津市内の対象者は



▲サミットにおいて、便利な高速船を使うルートのPRを



なか むら まさ はる
中村 勝 春

けん と
県都クラブ

久居消防署南分署の整備事業を問う

問 南分署は現在の場所で整備を行うとのことだが、その場所は、洪水ハザードマップや三重県地震被害想定調査において浸水被害や津波被害が想定されている地域であり、液状化被害も想定されている。また、地区自治会連合会が、南分署が以前あった高台への移転要望をしていたにもかかわらず、なぜ現在の場所に決定したのか。

答 南分署の整備については、平成25年3月に策定した第2次消防力整備計画における消防活動が効果的に行える場所を最優先に判断していくとの考えのもと、現在の場所での建て替えと移転建て替えの両方を選択肢として、客観的、技術的に検討してきた。

その結果、南分署の所在地は管轄区域の中央部に位置し、幹線道路である市道塔世橋南郊線に面するとともに、国道23号・165号に近接するなど交通至便な場所に位置し、管轄区域はもとより隣接消防署への補完活動にも迅速な対応が可能であることから、同所での建て替えが適当と判断した。

●その他の質疑・質問●

○安全・安心なまちづくり
●避難所へのマンホールトイレの設置

●防災センターの建設
●天神川の河川管理不備による水害について

○防犯カメラの設置補助の新設
○仮称ナイトスクールを設置するための資金補助と体制づくり
○大型ショッピングセンターへの期日前投票所の設置 など



▲現在の南分署